

2 研究の実際

(1) 学習指導要領における〔共通事項〕の考え方

小・中学校音楽科の内容は、**図 1** のように「A表現」「B鑑賞」及び〔共通事項〕で構成されています。〔共通事項〕は、表現及び鑑賞の全ての活動において共通に指導する内容を示しています。そして、〔共通事項〕はそれのみを扱うのではなく表現及び鑑賞の各活動の中で扱うようになっていきます。

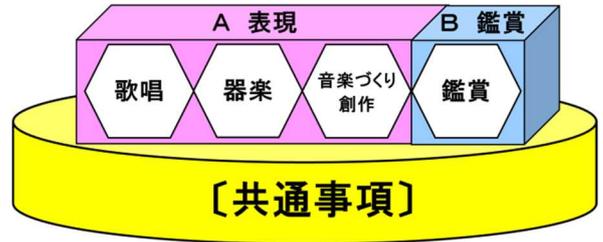


図 1 小・中学校音楽科の内容構成

小・中学校における〔共通事項〕の内容は、**表 1** のようにそれぞれア、イと分けて示されています。

表 1 小・中学校における〔共通事項〕の内容

〔共通事項〕	
小学校	中学校
「A表現」及び「B鑑賞」の指導を通して、次の事項を指導する。	
<p>ア</p> <p>音楽を形づくっている要素のうち次の(ア)(イ)を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取ること。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>(ア)音楽を特徴付けている要素</p> <p>音色、リズム、速度、旋律、強弱、音の重なりや和声の響き、音階や調、拍の流れやフレーズなど</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>(イ)音楽の仕組み</p> <p>反復、問いと答え、変化、音楽の縦と横の関係</p> </div>	<p>ア</p> <p>音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じることを。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>音楽を形づくっている要素</p> <p>音色、リズム、速度、旋律、テクスチャ、強弱、形式、構成など</p> </div>
<p>イ</p> <p>身近な音符、休符、記号や音楽にかかわる用語について、音楽活動を通して理解すること。</p>	<p>イ</p> <p>音楽に関する用語や記号などについて、音楽活動を通して理解すること。</p>

学習指導要領全面実施から小学校は4年、中学校では3年が経過し、〔共通事項〕というキーワードは浸透してきています。

〔共通事項〕といえば、「音色」「リズム」などの要素や音符、休符、記号や音楽にかかわる用

語のことのみに指すと理解されがちです。しかしながら、〔共通事項〕とは前頁表 1 のア、イで示されている要素、音符、休符、記号や音楽にかかわる用語のみに指すではありません。

〔共通事項〕 は、

- ・ 音楽を形づくっている要素を**知覚し(聴き取り)**、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを**感受する(感じ取る)** こと
- ・ 音楽にかかわる用語や記号などについて、**音楽活動を通して理解すること**

ここに示されている「音楽を形づくっている要素」と「音楽にかかわる用語や記号」の具体が前頁表 1 に示されているア、イになります。

ここに出てくる「知覚」「感受」という言葉について、中学校学習指導要領解説には次のように示されています。

知覚	聴覚を中心とした感覚器官を通して音や音楽を判別し、意識すること。
感受	音や音楽の特質や雰囲気などを感じ、受け入れること。

「知覚」と「感受」は一体的な関係にあると言えるが、指導に当たっては、音楽を形づくっている要素のうち、どのような要素を知覚したのかということと、その要素の働きによってどのような特質や雰囲気を感じたのかということとを、それぞれ確認しながら結び付けていくことが重要となる。

中学校学習指導要領解説音楽編(平成20年9月)p39

〔共通事項〕は、表現及び鑑賞に関する能力を育成する上で共通に必要なものです。よって、表現及び鑑賞の各活動と切り離して単独に指導するものではないことを留意しておく必要があります。

〔共通事項〕と表現及び鑑賞の各活動とを関連付けた学習例としては、歌唱の学習において「旋律」「強弱」を知覚して特質や雰囲気を感じ、それらと「歌詞の内容」とを関連させて表現を工夫して歌うことなどが考えられます。同様に、器楽の学習において「リズム」「音楽の縦と横の関係(テクスチャ)」と「声部の役割や全体の響き」とを関連させたり、音楽づくり(創作)の学習において「音色」「反復」「問いと答え」「変化(構成)」と全体のまとまりを関連させたりすることなどが考えられます。また、鑑賞の学習において「速度」「形式」を知覚し、特質や雰囲気を感じ、それらと「構造と曲想とのかかわり」を関連させて聴き、批評するなどして音楽のよさや美しさを味わうことも考えられます。

このように、〔共通事項〕を支えとして、表現及び鑑賞の各活動と関連付けた音楽の学習を展開することによって、音楽に対する理解を一層深めることができます。